

2024年11月7日  
2024年12月17日更新

『女性たちの韓国近現代史——開国から「キム・ジョン」まで』正誤表

初版に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

16頁5行目

(誤) 政権の中心にいた王族の李完用は

↓

(正) 政権の中心にいた李完用(高宗の親族)は

20頁11行目

(誤) 貴妃嚴氏である。

↓

(正) 貴妃嚴氏とその一族である。

28頁9行目

(誤) 李垠(母親は貴妃嚴氏)が英親王となり李王家の後継者に

↓

(正) 英親王李垠(母親は貴妃嚴氏)は李王家の後継者に

34頁10行目

(誤) 高宗の王子や孫の多くが、華族の令嬢と結婚し内鮮結婚を体現した。

↓

(正) 高宗の子孫に英親王のように日本人と結婚し内鮮結婚を体現した者もいた。

59頁8行目

(誤) 義親王(李鐸)

↓

(正) 同い年の甥李鐸

106 頁 3 行目

(誤) 清拭 (せいしょく) ※ルビ

↓

(正) 清拭 (せいしき)

117 頁 2 行目

(誤) パク・キスン

↓

(正) 朴玗順

154 頁 6-7 行目

(誤) 日本人男性の動員が影響していたと考えられる。

↓

(正) 日本人男性が戦争に動員された影響が考えられる。

176 頁 9 行目

(誤) キム・ナムジュ

↓

(正) チョ・ナムジュ

178 頁 12 行目

(誤) バングラデシュ

↓

(正) ラトビア

203 頁 8 行目 (参考文献)

(誤) 波多野節子

↓

(正) 波田野節子